

# 明石市文化財保存活用地域計画の概要（骨子部分）

## ■■明石市文化財保存活用地域計画の目標

明石の多様で豊かな歴史文化を守り、育て、次世代に引き継ぐため、本地域計画の目標は「**歴史文化遺産を通じた、ひと、まち、営みが輝く持続可能な地域づくり**」とします。

## ■■歴史文化遺産の保存・活用に関する基本方針と措置

5つの基本方針に基づき、各種事業を行うことにより、歴史文化遺産の保存・活用を進めます。

### 基本方針1 歴史文化遺産を持続的に「知る」取り組みを進める

措置：遺跡・武家屋敷跡の発掘調査、市史編さんに関する調査、生活文化・食文化・生業に関する調査、史料調査 等

### 基本方針2 学校教育・生涯教育の場で人づくりを進める

措置：学習発表会開催、歴史文化コーディネーター育成、出前授業拡充、副読本開発、新設文化財保管庫活用等

### 基本方針3 歴史文化遺産を確実に次世代に継承する

措置：文化財等への指定等、明石城跡保存活用、旧波門崎燈籠堂や船上城の環境整備、布団太鼓公開 等

### 基本方針4 歴史文化を活かした愛着のもてるまちづくりを推進する

措置：国際交流・地域間・広域交流、歴史文化観光コンテンツ拡充、南北・東西の歴史文化遺産ネットワーク化  
文化博物館拠点機能拡充、歴史まち歩きを開催、建造物の公開、文化財展示手法等検討 等

### 基本方針5 みんなで歴史文化を活かしたまちづくりを進める

措置：部局間連携、歴史文化遺産保存活用体制構築、顕彰制度確立、市民相談窓口設置、近隣自治体との連携 等

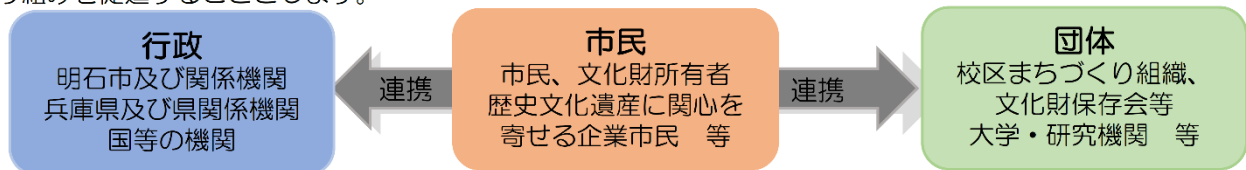
## ■■歴史文化遺産の防災・防犯に対する方針と措置

方針 近年多発している歴史文化遺産の火災や自然災害に対応するため、歴史文化遺産の防災・防犯を着実に進める。

措置：地域防災計画における歴史文化遺産防災条項の追記、防火訓練の実施、歴史文化遺産防災・防犯対応マニュアル作成、文化財パトロールの拡充、防災設備設置の支援 等

## ■■歴史文化遺産の保存・活用推進のための体制づくり

計画にそって実施する事業は、市民や校区まちづくり組織などの団体、大学・研究機関などの専門家、市の関係部署と連携して進めていきます。また、市民や活動団体などが中心となる事業については、市が必要な支援を行い、取り組みを促進することとします。



## ■■重点区域の設定

歴史文化を活かしたまちづくりを先導する区域を「歴史文化遺産保存活用重点区域」（「重点区域」という）と位置づけ、主として明石城下町跡区域を中心に設定します。

また、東西に長い本市の特性に鑑み、本市の各地域における代表的な歴史文化遺産を核とした周遊ルートの設定などによって東西の地域交流を進めます。

### ■■重点区域の方向性

重点区域で取り組んだ先導事例を、市内各地域に広げながら、歴史文化を活かしたまちづくりを持続的に進めていくものとします。

さらに、次期の地域計画改訂時には、市内各地域に順次、重点区域を設定するなどの取り組みを進め、歴史文化を活かしたまちづくりをより一層発展させることとします。

